

平成27年度 第1回 池田市総合教育会議 議事録

日 時：平成27年6月4日（木）午後1時30分～午後3時10分

会 場：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：小南市長、藤田教育委員長、山岸教育委員長職務代理者、児玉委員、河野委員、村田教育長

<事務局>

総合政策部（三好、斎藤、楠田、山田） 教育委員会 管理部（藤田、亀井、藤井、塩山） 教育部（阪本、齋藤、鈴木、西山、荒河、阪、田上、加藤）

傍聴者：0人

1. 開会の挨拶

<市 長>

- ・ざっくばらんに話し合う、あまり堅苦しくない会議にしたい。

2. 議事

(1) 池田市総合教育会議の運営について

<委 員>

- ・行政と教育は相互不可侵であるが、池田市の場合は市長挨拶のとおりこれまでもざっくばらんに話し合ってきた。

<市 長>

- ・おっしゃるとおり、元々教育委員会とは連携がとれていた。委員会は市長の意見も踏まえてくれている。

<委 員>

- ・理論的にもものが言えるような教育委員会でありたい。
- ・池田市は教育フォーラムなどがあり、連携がとれている。
- ・中学校給食の導入では、「まずい」と意見が出れば要望して予算を確保し、温かい品がでるようになった。このように、ものを言えばきちんとフィードバックされるような教育制度であればと思う。

<市 長>

- ・今までは教育から要望を受ける形だったが、この総合教育会議で予算のことも話し合いながら決めるという解釈もできると思う。ざっくばらんに意見を出し合いたい。

<委 員>

- ・総合教育会議で独立性が保たれると思う。これまでもオフィシャルの場ではないが懇談会であったり予算要望をしたり、協議の場は設けられており、法がなくても連

携がとれている。

- ・よりいろんなことを話し合い、いい方向に、教育委員の要望と市の要望を調整し迅速に進められたらいいと思う。
- ・この会議の具体的な頻度は決まりがあるのか？

<市 長>

- ・何かあるごとに、市長から召集させていただく。

<委 員>

- ・机上の空論ではなく、市長と実行していけるような新制度に期待している。

(2) 池田市の教育の現状について

<市 長>

- ・現在の学校給食センターは、老朽化が相当進んでいる。
- ・細河小学校跡地にもう少し大きなセンターを設置して、小学生と同様、中学生も集中センター方式で実施することも含めて検討中。なぜ細河ということについて、広い土地は他になく、阪神高速道路があるので、地の利がよい。

<委 員>

- ・お金をどうするか、どういう形の給食センターにするかが難しい。官の経営は長い目で見て人件費がかかる。民営化も避けられないと思う。

<市 長>

- ・整備には3通りのパターンがある。①P F I方式、②市が建物を運営し業者が調理する方法、③建物の設置から管理運営まですべて業者がするという方法。今後検討していく。

<委 員>

- ・小中と一括でセンター方式でできるのが一番いいのではないかと思う。
- ・中学校の給食が冷たい、味が薄いという意見があるが、子どもの健康を考えた結果、家庭の味より薄くなる。小学校給食は温かく、そのような意見はない。
- ・センターが大きくなると予算はどうなるのか？

<市 長>

- ・規模が倍になれば予算も倍になるわけではない。

<委 員>

- ・優先順位があるとは思いますが、ぜひお願いしたい。

<市長>

- ・平成28年で秦野小の耐震工事が終わる。給食センターの新築について、早急に検討しないといけない。

<委員>

- ・小中一貫教育では教育の質が問われる。教師の質を上げるよう委員会でサポートすべき。
- ・何が必要なのか、総合教育会議で実のある議論をしたいが、公的な場ではなかなか難しい。
- ・労働環境と精神面について、今は鬱だけでなくいろいろな病気がある。そういう人たちへのサポートはまだまだ欧米に比べて進んでいないと感じる。
- ・池田の教育は教師を含めていいところまでできているが、より上へいけると思う。
- ・英語教育など、より議論が必要である。

<市長>

- ・おっしゃったことを、どういう形で進めていくかが難しい。
- ・教育の現場で考えなければならないのは、優秀な教師とそうでない教師の教育を受けた場合、同じ1年でとても差が出る。サポート体制、研修をどうしていくかが重要。

<委員>

- ・全体的な議論である。教育施策に反映されるとよい。

<委員>

- ・教師には試行期間があるのか？民間企業のように、全体の何パーセントかは採用されないといったことがある。

<事務局>

- ・1年間は条件付き採用である。

<委員>

- ・銀行では何人も本採用されないと聞いたことがある。

<教育長>

- ・人を育てる方針でやっている。

<委員>

- ・3年は見ないと分からないと思う。

<教育長>

- ・1年研修、2年研修がある。研修の授業では親や地域の人、教師仲間に見てもらい、そういう中で人を育てるという方針。小学校、中学校全校で公開授業をやっているのは、このあたりでは池田市のみである。小学校では多いが、中学校で行うところは少ない。学校が荒れて警官が入ったり、子どもが廊下へ飛び出したりするところではできない。そういう意味では池田の教育環境は落ち着いているといえる。見てもらうのが一番の研修であると考えてるので、また委員さんにも見ていただきたい。

<委員>

- ・小中一貫で子ども達の状況はどう変わったか。他の学校も検討していただければと思う。

<市長>

- ・1年でいい点、悪い点が出てくる。
- ・石橋小・中学校の一体化も検討したが、耐震化優先。一体型校の整備は50億円程度かかる。しかし一体化ができないわけではない。財政が好転すれば可能。方向性は捨てない。石橋南小も、児童数が減り保護者の意見も一体化でいいということになれば石橋小・石橋中に組み込むという考えもある。

<委員>

- ・一体化ありきではないが、たぶんそれが望ましい。やってみなければ分からない。幼稚園、小学校、中学校が一体のところもある。

<委員>

- ・池田は若い人が子どもを育てるには適していると思う。
- ・教育が良ければ人が集まる。

<教育長>

- ・伏尾台地域はご高齢の方が多く、子どもたちは外へ出る。

<市長>

- ・今年市内で空き家の実態調査を行う。どういう状況で空き家になるのか、今後有効利用する方法などを調査する。

<委員>

- ・伏尾台で空いている家をよそから来た人に斡旋することができればいいと思う。

<市長>

- ・話は変わるが、市民の親御さんからこのような話を聞いた。自分の子どもは公立幼稚園から入るが、隣の子は3歳から保育所に入り1年間教育を受けている。幼稚園

から一緒になり、その1年のギャップが出るのが不安。その1年間で何か教育を受けるシステムはないのか。

<教育長>

- ・3歳児向けには園の状況によるが週1、2回行っている。

<委員>

- ・保健センターで行われている離乳食講習会や、3ヶ月検診での母親のネットワークに感心した。講習会がきっかけで共同利用施設を借りて集まっている。昔よりも今の方が「LINE」でつながることができ、幼稚園に行かなくても意外とプレ幼稚園を私的な範囲で開催している。
- ・検診が終わりそのネットワークから外れる人たちにとっては、早く幼稚園教育をとという要望があるのかなと思う。

(3) 教育に関する大綱について

<市長>

- ・論点は、①現行の計画を尊重、逸脱するものではない②具体的施策を盛り込むか③対象期間の3つである。
- ・総合計画、教育ビジョン、第2期教育振興計画の3つの範疇の中で対象期間も計画の範囲において考える。
- ・事務方として大綱の原案を策定。次回に案を示させていただく。

<委員>

- ・そのような形でいいと思う。
- ・教育ビジョンで方向性が示されているので、それをベースに策定するのがよいだろう。

<委員>

- ・教育ビジョンと総合計画の整合性を考える必要がある。

<委員>

- ・大綱は4、5年の話なので具体的なことを書いても先のことは分からない。そうではなくありようを書くべき。あえていえば大綱とは10年20年変わらない物事であるが、地方行政の中では長い期間なのだろう。

<市長>

- ・4、5年という数字は、委員の任期などから想定されている。
- ・今お話があったように、委員が変わったからといって大綱が変わるべきではない。

<委 員>

- ・具体的な施策を盛り込むのか。

<市 長>

- ・教育委員会事務局としての考え方を提案していただいた上で考える。

<委 員>

- ・大綱と関係あるかは分からないが、教育の現場サイド、お金がないという現場の意識、IT化で差がつく。単に生徒が使えるかどうかではなく、教材としてどう活用するか。教師自身が勉強して教材を作らなければならない。そういった意識を含めて大綱に盛り込めれば。

<市 長>

- ・IT化は重要だが、全校では難しい。今は石橋小のみで導入しているが、石橋南小、石橋中学校を合わせて中学校全体のモデル地域にできればいいと思う。そして今お話にあったようなソフト関係の実用化を検討する必要がある。

<委 員>

- ・小学校では導入済みだが、中学ではまだということで、まだ連携がとれているわけではなく、一体化が必要。ほそごう学園でもぜひ検討してほしい。

<教育長>

- ・大綱の中で具体策を講じるかどうか、教育委員会事務局で調整。

<市 長>

- ・さしあたっては事務方で案を作成する。

3. 閉会

- ・次回は9月頃の開催を予定。